

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公表特許公報(A)

(11) 特許出願公表番号

特表2019-505878  
(P2019-505878A)

(43) 公表日 平成31年2月28日(2019.2.28)

(51) Int. Cl.	F I			テーマコード (参考)
<b>G06F 13/00 (2006.01)</b>	G06F	13/00	650B	5B084
<b>H04M 1/00 (2006.01)</b>	H04M	1/00	R	5K127
<b>H04M 11/00 (2006.01)</b>	H04M	11/00	302	5K201

審査請求 未請求 予備審査請求 未請求 (全 29 頁)

(21) 出願番号 特願2018-528255 (P2018-528255)  
 (86) (22) 出願日 平成28年12月20日 (2016.12.20)  
 (85) 翻訳文提出日 平成30年7月25日 (2018.7.25)  
 (86) 国際出願番号 PCT/US2016/067807  
 (87) 国際公開番号 W02017/112681  
 (87) 国際公開日 平成29年6月29日 (2017.6.29)  
 (31) 優先権主張番号 201510967580.6  
 (32) 優先日 平成27年12月21日 (2015.12.21)  
 (33) 優先権主張国 中国 (CN)  
 (31) 優先権主張番号 15/383,894  
 (32) 優先日 平成28年12月19日 (2016.12.19)  
 (33) 優先権主張国 米国 (US)

(71) 出願人 511050697  
 アリババ グループ ホウルディング リミテッド  
 英国領ケイマン諸島 グランド ケイマン ジョージ タウン ビーオーボックス 847 ワン キャピタル プレイス フォース フロア  
 (74) 代理人 100079108  
 弁理士 稲葉 良幸  
 (74) 代理人 100109346  
 弁理士 大貫 敏史  
 (74) 代理人 100117189  
 弁理士 江口 昭彦  
 (74) 代理人 100134120  
 弁理士 内藤 和彦

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 インスタントメッセージングアプリケーションにおける通信のための方法及びシステム

(57) 【要約】

本願の実施形態は、割当操作を実行するための方法及びシステムを提供する。操作中、システムは割当元に関連する計算装置からオブジェクト割当要求を受信することができる。システムは、オブジェクト割当要求に基づいて割当元、1つ又は複数の割当対象、1つ又は複数の通知対象、及び割り当てるべきオブジェクト量を決定することができる。システムは、割当元に対応するオブジェクトセットから、割り当てるべきオブジェクト量に対応する割り当てるべきオブジェクトを抽出することができる。次いでシステムは、割り当てるべきオブジェクトを割当対象に割り当てることことができる。システムは、割当操作に関するメッセージを通知対象に通知することができる。

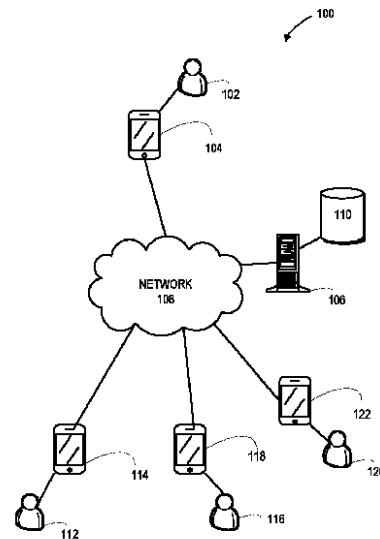


FIG. 1

**【特許請求の範囲】****【請求項 1】**

割当操作を実行するためのコンピュータによって実装される方法であって、  
割当元に関連する計算装置からオブジェクト割当要求を受信すること、  
前記オブジェクト割当要求に基づいて前記割当元、1つ又は複数の割当対象、1つ又は  
複数の通知対象、及び割り当てるべきオブジェクト量を決定すること、  
前記割当元に対応するオブジェクトセットから、前記割り当てるべきオブジェクト量に  
対応する割り当てるべきオブジェクトを抽出すること、  
前記割り当てるべきオブジェクトを前記割当対象に割り当てること、及び  
前記割当操作に係るメッセージを前記通知対象に通知すること  
を含む、方法。

10

**【請求項 2】**

前記オブジェクト割当要求に基づいて前記割当元、前記割当対象、前記通知対象、及び  
前記割り当てるべきオブジェクト量を決定することが、  
前記オブジェクト割当要求の送信者が前記割当元だと決定すること、及び  
前記割当元によって指定される前記割当対象、前記通知対象、及び前記割り当てるべき  
オブジェクト量を示すデータを前記オブジェクト割当要求から抽出すること  
を含む、請求項 1 に記載の方法。

**【請求項 3】**

前記オブジェクト割当要求に基づいて前記割当元、前記割当対象、前記通知対象、及び  
前記割り当てるべきオブジェクト量を決定することが、  
前記オブジェクト割当要求の送信者が前記割当元だと決定すること、及び  
前記割当対象及び前記割り当てるべきオブジェクト量を示すデータを前記オブジェクト  
割当要求から抽出すること  
を含み、  
前記割当元がグループのための前記オブジェクト割当要求を送信し、前記通知対象が前  
記割当元を除き且つ前記割当対象を除く前記グループのメンバである、  
請求項 1 に記載の方法。

20

**【請求項 4】**

前記グループがインスタントメッセージングアプリケーション内のグループである、請  
求項 3 に記載の方法。

30

**【請求項 5】**

前記割り当てるべきオブジェクトを前記割当対象に割り当てること、  
割当対象がログオンしている第 2 の計算装置にセッションメッセージをプッシュするこ  
とであって、前記第 2 の計算装置は事前設定されたトリガアイコンを表示することによっ  
て前記セッションメッセージの受信に応答する、プッシュすること、及び  
前記第 2 の計算装置から送信される事前設定されたトリガ要求を受信することに応答し  
、前記割り当てるべきオブジェクトを前記割当対象に割り当てることであって、前記事  
前設定されたトリガ要求は、前記割当対象が前記事前設定されたトリガアイコンに対す  
るトリガ操作を行うこと、を検出することに応答して前記第 2 の計算装置によって送信される  
、割り当てること  
を含む、請求項 1 に記載の方法。

40

**【請求項 6】**

前記割り当てるべきオブジェクトを前記割当対象に割り当てること、  
既定のオブジェクト割当規則及び前記オブジェクト割当要求内に含まれる特定のオブジ  
ェクト割当規則の少なくとも 1 つに従って、対応するオブジェクト量を各割当対象に割り  
当てること  
を含む、請求項 1 に記載の方法。

**【請求項 7】**

前記オブジェクト割当要求内に含まれる前記特定のオブジェクト割当規則が、均等に割

50

り当てること、ランダムに割り当てること、及び前記割当元によって指定される割当対象ごとの割当量に従って割り当てることのうちの少なくとも1つを指定する、請求項6に記載の方法。

【請求項8】

前記割り当てるべきオブジェクトを前記割当対象に割り当てること、

前記割当対象と音声通話を確立し、割当オブジェクトを受信するための方法をブロードキャストすることであって、特定の割当対象が電話インタフェースによって文字列を入力すること及び音声通話を確立することのうちの少なくとも1つを行う、ブロードキャストすること、及び

前記文字列及び前記音声通話の少なくとも1つを受信することに応答し、前記文字列又は前記音声通話のコンテンツが所定のコンテンツと一致すると判定し、前記割り当てるべきオブジェクトを前記特定の割当対象に割り当てること

10

を含む、請求項1に記載の方法。

【請求項9】

前記割当操作に関するメッセージを前記通知対象に通知することが、

前記割当元によって指定される通知方法を示すデータを前記オブジェクト割当要求から抽出すること、及び

前記通知方法に従って前記割当操作に関するメッセージを前記通知対象に通知すること

を含む、請求項1に記載の方法。

20

【請求項10】

前記割当操作に関するメッセージを前記通知対象に通知することが、

特定の通知対象がログオンしている計算装置に通知メッセージをプッシュすることを含み、前記計算装置は既定のトリガ操作を検出し、前記既定のトリガ操作を検出することに応答して前記割当操作に関するメッセージを表示する、

請求項1に記載の方法。

【請求項11】

前記割当元、前記割当対象、及び前記通知対象がグループのメンバであり、前記既定のトリガ操作は前記計算装置が、前記グループのメッセージセッションウィンドウを開くユーザ入力を受信することを含む、請求項10に記載の方法。

30

【請求項12】

1個又は複数個のプロセッサと、

前記1個又は複数個のプロセッサに結合され、記憶済み命令を記憶する非一時的コンピュータ可読媒体と、を含む計算システムであって、

前記命令は、前記1個又は複数個のプロセッサによって実行されるとき、割当操作のための方法を前記計算システムに実行させ、前記方法は、

割当元に関連する計算装置からオブジェクト割当要求を受信すること、

前記オブジェクト割当要求に基づいて前記割当元、1つ又は複数の割当対象、1つ又は複数の通知対象、及び割り当てるべきオブジェクト量を決定すること、

前記割当元に対応するオブジェクトセットから、前記割り当てるべきオブジェクト量に対応する割り当てるべきオブジェクトを抽出すること、

40

前記割り当てるべきオブジェクトを前記割当対象に割り当てること、及び

前記割当操作に関するメッセージを前記通知対象に通知すること

を含む、計算システム。

【請求項13】

前記オブジェクト割当要求に基づいて前記割当元、前記割当対象、前記通知対象、及び前記割り当てるべきオブジェクト量を決定することが、

前記オブジェクト割当要求の送信者が前記割当元だと決定すること、及び

前記割当元によって指定される前記割当対象、前記通知対象、及び前記割り当てるべきオブジェクト量を示すデータを前記オブジェクト割当要求から抽出すること

50

を含む、請求項 1 2 に記載のシステム。

【請求項 1 4】

前記オブジェクト割当要求に基づいて前記割当元、前記割当対象、前記通知対象、及び前記割り当てるべきオブジェクト量を決定することが、

前記オブジェクト割当要求の送信者が前記割当元だと決定すること、及び

前記割当対象及び前記割り当てるべきオブジェクト量を示すデータを前記オブジェクト割当要求から抽出すること

を含み、

前記割当元がグループのための前記オブジェクト割当要求を送信し、前記通知対象が前記割当元を除き且つ前記割当対象を除く前記グループのメンバである、

請求項 1 2 に記載のシステム。

10

【請求項 1 5】

前記割り当てるべきオブジェクトを前記割当対象に割り当てること、

割当対象がログオンしている第 2 の計算装置にセッションメッセージをプッシュすることであって、前記第 2 の計算装置は事前設定されたトリガアイコンを表示することによって前記セッションメッセージの受信に応答する、プッシュすること、及び

前記第 2 の計算装置から送信される事前設定されたトリガ要求を受信することに応答し、前記割り当てるべきオブジェクトを前記割当対象に割り当てることであって、前記事前設定されたトリガ要求は、前記割当対象が前記事前設定されたトリガアイコンに対するトリガ操作を行うこと、を検出することに応答して前記第 2 の計算装置によって送信される、割り当てること

20

を含む、請求項 1 2 に記載のシステム。

【請求項 1 6】

前記割り当てるべきオブジェクトを前記割当対象に割り当てること、

既定のオブジェクト割当規則及び前記オブジェクト割当要求内に含まれる特定のオブジェクト割当規則の少なくとも 1 つに従って、対応するオブジェクト量を各割当対象に割り当てること

を含む、請求項 1 2 に記載のシステム。

【請求項 1 7】

前記オブジェクト割当要求内に含まれる前記特定のオブジェクト割当規則が、均等に割り当てること、ランダムに割り当てること、及び前記割当元によって指定される割当対象ごとの割当量に従って割り当てることのうちの少なくとも 1 つを指定する、請求項 1 6 に記載のシステム。

30

【請求項 1 8】

前記割り当てるべきオブジェクトを前記割当対象に割り当てること、

ネットワーク上で前記割当対象と音声通話を確立し、割当オブジェクトを受信するための方法をブロードキャストすることであって、特定の割当対象が電話インタフェースによって文字列を入力すること及び音声通話を確立することのうちの少なくとも 1 つを行う、ブロードキャストすること、及び

前記文字列及び前記音声通話の少なくとも 1 つを受信することに応答し、前記文字列又は前記音声通話のコンテンツが所定のコンテンツと一致すると判定し、前記割り当てるべきオブジェクトを前記特定の割当対象に割り当てること

40

を含む、請求項 1 2 に記載のシステム。

【請求項 1 9】

前記割当操作に関するメッセージを前記通知対象に通知することが、

前記割当元によって指定される通知方法を示すデータを前記オブジェクト割当要求から抽出すること、及び

前記通知方法に従って前記割当操作に関するメッセージを前記通知対象に通知すること

を含む、請求項 1 2 に記載のシステム。

50

## 【請求項 20】

コンピュータによって実行されるとき、  
 割当元に関連する計算装置からオブジェクト割当要求を受信すること、  
 前記オブジェクト割当要求に基づいて前記割当元、1つ又は複数の割当対象、1つ又は  
 複数の通知対象、及び割り当てるべきオブジェクト量を決定すること、  
 前記割当元に対応するオブジェクトセットから、前記割り当てるべきオブジェクト量に  
 対応する割り当てるべきオブジェクトを抽出すること、  
 前記割り当てるべきオブジェクトを前記割当対象に割り当てること、及び  
 前記割当操作に係るメッセージを前記通知対象に通知すること  
 を含む割当操作を行うための方法を前記コンピュータに実行させる命令を記憶する、非  
 一時的コンピュータ可読記憶媒体。 10

## 【請求項 21】

複数のメンバを有するインスタントメッセージンググループ内の通信のためのコンピュ  
 ータ実施方法であって、  
 利用者の計算装置において、少なくとも第1のlucky moneyモードのオプション及び第  
 2のlucky moneyモードのオプションを有するグラフィカルユーザインタフェースを表示  
 することであって、  
 前記第1のlucky moneyモードのオプションは、グループチャットウィンドウに第1の  
 種類のlucky moneyメッセージを送信するために前記利用者によって選択可能であり、そ  
 れにより前記インスタントメッセージンググループの各メンバは少なくとも前記第1の種  
 20 類のlucky moneyメッセージに関連するオブジェクトを得る機会を有し、  
 前記第2のlucky moneyモードのオプションは、前記グループチャットウィンドウに第  
 2の種類のlucky moneyメッセージを送信するために前記利用者によって選択可能であり  
 、それにより前記第2の種類のlucky moneyメッセージによって予め定められたメンバだ  
 けが前記第2の種類のlucky moneyメッセージに関連する1つ又は複数のオブジェクトを  
 得ることができる、表示すること、  
 前記第2のlucky moneyモードのオプションを選択するためのユーザ入力を受信するこ  
 と、  
 前記第2の種類のlucky moneyメッセージに関連する1つ又は複数のオブジェクトをそ  
 れぞれ受信する1人又は複数のメンバのユーザ選択を受信すること、 30  
 前記選択された1人又は複数のメンバのそれぞれに割り当てるべきオブジェクト量を示  
 すユーザ入力を受信すること、  
 前記利用者に対応するオブジェクトセットから、前記割り当てるべきオブジェクト量に  
 対応する割り当てるべきオブジェクトを抽出すること、及び  
 前記割り当てるべきオブジェクトを前記1人又は複数のメンバに割り当てること  
 を含む、方法。

## 【発明の詳細な説明】

## 【技術分野】

## 【0001】

背景  
 分野

本発明は、インスタントメッセージング技術に関し、具体的には、グループの1人又は  
 複数のメンバに対するギフトオブジェクトの割当を他者に通知しながら、グループの1人  
 又は複数のメンバにギフトオブジェクトを与えるための方法及びシステムに関する。

## 【背景技術】

## 【0002】

関連技術

ネットワーク技術の発展に伴い、金銭ギフト又は他のオブジェクトを送信するための様  
 々な手法が登場する。例えば、ソフトウェアアプリケーション内のギフト機能を使用して  
 送金することができる。ギフト機能は、本物のギフトを届ける行為と類似するように設計  
 50

される仮想製品であり得る。

【発明の概要】

【課題を解決するための手段】

【0003】

概要

本開示の一実施形態は、割当操作を実行するためのシステムを提供する。操作中、システムは割当元に関連する計算装置からオブジェクト割当要求を受信することができる。システムは、オブジェクト割当要求に基づいて割当元、1つ又は複数の割当対象、1つ又は複数の通知対象、及び割り当てるべきオブジェクト量を決定することができる。システムは、割当元に対応するオブジェクトセットから、割り当てるべきオブジェクト量に対応する割り当てるべきオブジェクトを抽出することができる。次いでシステムは、割り当てるべきオブジェクトを割当対象に割り当てることことができる。システムは、割当操作に係るメッセージを通知対象に通知することができる。

10

【0004】

図面の簡単な説明

本明細書に記載の添付図面は本願を更に理解するために使用され、本願の一部を構成し、本願の概略的な実施形態及びその説明は、本願を不適切に限定するのではなく本願を解釈するために使用される。

【図面の簡単な説明】

【0005】

20

【図1】本発明の一実施形態による、オブジェクト割当プロセスを助ける例示的な計算システムの概略図を示す。

【図2】本発明の一実施形態による、オブジェクトを割り当てるための例示的プロセスを示す流れ図を示す。

【図3】本発明の一実施形態による、例示的なメッセージセッションウィンドウを示す概略図を示す。

【図4】本発明の一実施形態による、メニューオプションを有する例示的なアプリケーション画面を示す概略図を示す。

【図5】本発明の一実施形態による、例示的なギフトオブジェクト構成ページを示す概略図を示す。

30

【図6】本発明の一実施形態による、例示的なギフトオブジェクト構成ページを示す概略図を示す。

【図7】本発明の一実施形態による、オブジェクトを割り当てるための例示的プロセスを示す流れ図を示す。

【図8】本発明の一実施形態による、ギフトオブジェクトを受信したときの例示的なメッセージセッションウィンドウを示す概略図を示す。

【図9】本発明の一実施形態による、利用者がギフトオブジェクトを受信し閲覧したときの例示的な重畳コンテンツを示す概略図を示す。

【図10】本発明の一実施形態による、事前設定されたトリガアイコンを有する例示的なメッセージセッションウィンドウを示す概略図を示す。

40

【図11】本発明の一実施形態による、通知を受信したときの例示的なメッセージセッションウィンドウを示す概略図を示す。

【図12】本願の一実施形態による、割当を受信することなしにギフトオブジェクトの通知を受信したときの別の例示的なメッセージセッションウィンドウを示す概略図を示す。

【図13】本発明の一実施形態による、グループメンバー間でオブジェクトを割り当てるための電子装置の例示的なシステムアーキテクチャを示す概略図を示す。

【図14】本発明の一実施形態による、グループメンバー間でオブジェクトを割り当てるための例示的な機器を示す概略図を示す。

【図15】本願の一実施形態による、グループメンバー間でオブジェクトを割り当てるための例示的なサーバを示す概略図を示す。

50

## 【発明を実施するための形態】

## 【0006】

## 実施形態の詳細な説明

本発明の実施形態は、割当対象、通知対象、及び割り当てるべきオブジェクト量（例えば報酬やギフトオブジェクトの数量）を指定するオブジェクト割当要求を利用者の計算装置がサーバに送信することを可能にすることにより、グループチャットセッション内の1人又は複数の特定の利用者にギフトオブジェクトを与える問題を解決する。利用者を割当元と呼ぶ。割当対象は、ギフトオブジェクトの一部を受信する他の利用者である。通知対象は、実際に報酬を受信することなしに、与えられるギフトオブジェクトに関する情報を受信する利用者であり、かかる情報は通知対象の士気を高めることを促進する。割当元、割当対象、及び通知対象は、全て組織内のグループのメンバであり得る。「ギフトオブジェクト」又は単純に「オブジェクト」は、lucky money、従来のChinese「red envelope」金銭ギフト、ギフトカード、又は或る利用者から別の利用者に転送され得る任意の種類の報酬若しくは賞与等の金銭的なファンドであり得る。オブジェクト割当システムでは、サーバが割り当てるべきオブジェクトをオブジェクトセットから抽出し、そのオブジェクトを割当対象間でしかるべく割り当てることができる。例えばサーバは企業アカウントから資金を抽出し、グループの特定のメンバに金銭を割り当てることができる。サーバは、その割当を通知対象に通知することもできる。例えばサーバは、グループの他のメンバに金銭が割り当てられていることを、割当資金を全く受信しないグループメンバに通知することができる。

10

20

## 【0007】

## 組織内でのギフトオブジェクトの送信

企業組織は利用者がギフトオブジェクトを送信することを可能にすることができ、ギフトオブジェクトは、利用者が他の利用者に資金又は他のアイテム（例えば仮想物品やクーポン）を送信することを明確に示し得る。会社のシナリオでは、経営者、財務スタッフ、又は他の公認された職員が資金アカウントにアクセスし、資金又は他の仮想物品と共にギフトオブジェクトを送信することができる。アカウントは、例えば利用者の個人アカウント（例えば個人の銀行預金口座）、公的資金アカウント、又は企業資金アカウントであり得る。

30

## 【0008】

様々なアプリケーションのシナリオにおいて、ギフトオブジェクトを送信するとき、ギフトオブジェクトはグループ内の個人又は全てのメンバに送信され得る。一部のアプリケーションのシナリオでは、利用者がチームの一部のメンバにギフトオブジェクトを送信することを望む場合がある。既存の技術は、送信者が各チームのメンバに個々に且つ別々に送信することしか認めない。しかし、送信者はギフトオブジェクトが特定の利用者に贈られたことをチームの他のメンバが知ることができるようにしたい場合があり得る。送信者がチーム全体にギフトオブジェクトを送信する場合、チーム内の全てのメンバがギフトオブジェクトをクリックして受信することができ、送信者はギフトオブジェクトのコンテンツを誰が受信し得るのかを効果的に管理することができない。本発明の実施形態により、送信者は1人又は複数の特定のグループメンバにギフトオブジェクトを送信することを決められる一方、同じグループの他のメンバが、ギフトオブジェクトを受信することなしにギフトオブジェクトの転送を確認することを可能にし得る。この構成は、グループの特定のメンバへの公の賞が同じグループ内の他のメンバの士気を高める役割を果たすことがある企業環境内で有用であり得る。

40

## 【0009】

## オブジェクトを割り当てるための計算システム

図1は、本発明の一実施形態による、オブジェクト割当プロセスを助ける例示的な計算システム100の概略図を示す。図1に示すように、利用者102は、利用者102がインスタントメッセージングに参加すること並びにギフトオブジェクトを送受信することを可能にするインストール済みモジュールを有するクライアント計算装置104を操作して

50

いる場合がある。利用者102がオブジェクトを他の当事者に割り当てる（例えば報酬や賞与金を送信する）場合は利用者102が割当元である。計算装置104は、携帯電話、タブレット、ラップトップ、デスクトップコンピュータ、又は他の任意の種類 of 計算装置等のモバイル装置であり得る。利用者102は、例えば企業組織内のグループのメンバを表し得る。計算装置104は、ネットワーク108を介してサーバ106と通信することができる。サーバ106は、利用者がインスタントメッセージを送信すること並びにギフトオブジェクトを送受信することを可能にするエンタープライズサーバを表し得る。サーバ106は、オブジェクト割当ソフトウェア用のコード、ユーザデータ、（例えば資金や他の仮想オブジェクトを含む）オブジェクトデータ等、様々なアプリケーション用のコード及び他のデータを記憶するための記憶域110を含み得る。記憶域110は、オブジェクト割当要求に基づいて割当元、割当対象、通知対象、及び割り当てるべきオブジェクト量（例えばオブジェクトの数量）を決定する決定モジュール用のコード等、本明細書に記載のモジュール用のコードも記憶することができる。更に、サーバ106はエンタープライズサーバの機能を支援する機械群を表し得る。

10

#### 【0010】

利用者112はクライアント114を操作することができ、利用者116はクライアント118を操作することができ、利用者120はクライアント122を操作することができる。例えば、利用者112はクライアント114を操作してサーバ106に接続し、他の計算装置を操作する他の利用者とインスタントメッセージを送受信すること並びにギフトオブジェクトを送受信することができる。利用者112は、クライアント114を使用して利用者102等の他の当事者とインスタントメッセージングを行うことができる。利用者112はクライアント114を使用してサーバ106と対話し、他の割当対象にオブジェクトを割り当てること並びに他の当事者によって割り当てられるオブジェクトを受信することもできる。クライアント114、118、122のそれぞれは、携帯電話、タブレット、ラップトップ、デスクトップコンピュータ、又は他の任意の種類 of 計算装置等のモバイル装置であり得ることに留意されたい。

20

#### 【0011】

一部の実施形態では、計算装置が、インストールされたときにインスタントメッセージング、オブジェクトの割り当て、及び/又はサーバ106との対話を可能にするカスタマイズされた実行可能コードに対する要求を送信することができる。クライアントはサーバ106から実行可能コードを受信し、その実行可能コードをインストールしてインスタントメッセージング、オブジェクトの割り当て、及びサーバ106との他の対話を可能にすることができる。更に、サーバ106は実行可能コードを自動で更新することができる。サーバ106は、ソフトウェアの更新をクライアントに自動でプッシュすることができる。

30

#### 【0012】

一部の実施形態では、クライアント及び/又はサーバ106が銀行や他のオンライン小売商と直接インタラクトして、割当元がオブジェクトを割り当てるのに使用することができる情報を得ることもできる。例えば計算装置104は、銀行から企業アカウント情報を取得することができ、それにより割当元が資金を閲覧し、しかるべく割り当てることのできる。計算装置104は他の小売商データをプルして、割当元が様々なオブジェクト（例えば小売商の製品）を選択し、割当対象にオブジェクトを割り当てることも可能にし得る。計算装置104は銀行及び/又は小売商データを共通ユーザインタフェースに統合し、銀行及び/又は小売商データの情報を一貫した統合ユーザインタフェース内で利用者に提示することができる。

40

#### 【0013】

一部の実施形態では、インスタントメッセージング及びオブジェクト割当プロセスに関連する計算装置がピアツーピアアーキテクチャを使用して実装され得る。

#### 【0014】

本発明の実施形態は既存のシステムに勝る改善を呈する。割当元に関連する計算装置は

50



、グループメンバに関連する他の計算装置にオブジェクト（例えば資金）を割り当てる追加機能を有する。計算装置はサーバと通信して割当を行い、その割当を他のメンバに通知することができる。計算装置は、割当元がグループメンバの一部にだけ割当を行い、割当を受信しないメンバにその割当操作を通知することを可能にする。

【0015】

一部の実施形態では、計算装置（例えばクライアント装置及び／又はサーバ）がデータ構造を生成し、データ構造を表すデータをメモリ及び／又は非一時的記憶域内に記憶することができる。計算装置は、グループメンバ、割当元、割当対象、通知対象、割り当てるべきオブジェクト量、及び／又はアカウント情報に関連する（例えばそれらを記述し又は示す）情報等のデータをデータ構造内に記憶することができる。計算装置は、他の計算装置のインターネットプロトコルアドレス（IPアドレス）、サーバのIPアドレス、及び／又はピアツーピア実装に関連するデータをデータ構造内に記憶することもできる。計算装置は、記憶済みの情報を抽出するために割当処理中等にデータ構造にアクセスし、それによりオブジェクト割当アプリケーションのシナリオにおいて処理時間を加速することができる。計算装置は、将来のオブジェクト割当を処理するときにデータ構造内に記憶されているデータに再アクセスして、様々なアプリケーションのシナリオにおいてオブジェクトを割り当てるための時間を短縮することができる。一部の実施形態では、計算装置がデータ構造に関連するデータをキャッシュに入れ、キャッシュに入れられたデータにアクセスし、それにより一部のアプリケーションのシナリオにおいて処理時間を短縮することができる。

10

20

【0016】

本開示の中で論じる技法は、人間-機械インタラクション、ユーザインタフェース、エンタープライズソフトウェア、人的資源管理ソフトウェア、通信ソフトウェア等の様々な技術分野における改善を呈することに留意されたい。

【0017】

オブジェクトを割り当てるためのプロセス

図2は、本発明の一実施形態による、オブジェクトを割り当てるための例示的プロセス200を示す流れ図を示す。図2に示す操作はサーバが行うことができる。操作中、システムが割当元に関連する計算装置からオブジェクト割当要求をまず受信することができる（操作202）。システムは、計算装置からネットワークを介してオブジェクト割当要求を受信し得る。

30

【0018】

システムは、受信したオブジェクト割当要求に基づいて割当元、割当対象、通知対象、及び割り当てるべきオブジェクト量を決定することができる（操作204）。オブジェクトは、グループメンバに報酬を与えるために使用される資金又は他のアイテムとすることができる。

【0019】

システムは、割当元に対応するオブジェクトセットから、割り当てるべきオブジェクト量に対応する割り当てるべきオブジェクトを抽出することができる（操作206）。

【0020】

システムは、割り当てるべきオブジェクトを割当対象に割り当て、割当操作に関するメッセージを通知対象に通知することができる（操作208）。

40

【0021】

1. 割当情報の決定

操作204でシステムは、割当元、割当対象、通知対象、及び割り当てるべきオブジェクト量に関連する情報を決定するための様々な技法を実行することができる。この情報を決定するための1つの方法を以下で説明する。

【0022】

実施形態I

一実施形態では、サーバが、オブジェクト割当要求の送信者が割当元だと決定し、割当

50

対象及び割り当てるべきオブジェクト量を示すデータをオブジェクト割当要求から抽出することができる。換言すれば、割当元が割当対象及び割り当てるべきオブジェクト量を事前に指定する。

【0023】

一例として、割当元は電子装置上にインストールされた特定のアプリケーションプログラムを使用し、割当対象及び割り当てるべきオブジェクト量を事前に指定することができる。アプリケーションプログラムは、インスタントメッセージングアプリケーションであり得る。例えばインスタントメッセージングアプリケーションは、エンタープライズインスタントメッセージング（EIM）アプリケーションであり得る。かかる1つのEIMアプリケーションは「Ding Talk」である。

10

【0024】

割当元が「Ding Talk」等において通信グループのメッセージセッションウィンドウによってオブジェクト割当要求を送信すると、システムが、対応する割当対象及び割り当てるべきオブジェクト量を指定することができる。システムは、グループの特性に基づいて通知対象を自動で決定することができる。

【0025】

メッセージセッションウィンドウ及びメニューオプション

図3は、本発明の一実施形態による、例示的なメッセージセッションウィンドウ302を示す概略図300を示す。図3に示すように、割当元は「よく働いているチーム」のグループに対応するメッセージセッションウィンドウ302内で操作を行うことができる。例えば利用者は、図3に示すメッセージセッションウィンドウの左下角にある「

20

【数1】



」アイコン304をクリックして、メッセージセッションウィンドウの下にメニューオプションを呼び出すことができる。これらのメニューオプションは図4に示すものとすることができる。

【0026】

図4は、本発明の一実施形態による、メニューオプションを有する例示的なアプリケーション画面を示す概略図400を示す。図4に示すように、メニューオプションは、「投稿」、「ログ」、「承認」、「サインイン」とラベル付けされた制御ボタン等、企業管理のための制御ボタン402を含み得る。制御ボタン402は、lucky money及び/又は他のギフトオブジェクトを送信するための「lucky money」とラベル付けされた制御ボタン404も含み得る。

30

【0027】

ギフトオブジェクト構成ページ

図5は、本発明の一実施形態による、例示的なギフトオブジェクト構成ページを示す概略図500を示す。図4の「lucky money」とラベル付けされた制御ボタン404を割当元が選択した後、システムはアプリケーション画面を図5に示すギフトオブジェクト（例えば「lucky money」）構成ページに変えることができる。

40

【0028】

割当元は、lucky moneyを送信するために、指図されたlucky money 502又はランダムlucky money 504を使用することに決めることができる。指図されたlucky moneyでは、複数のメンバを有するグループのシナリオにおいて、グループのどのメンバがlucky moneyの割当を受信するのかを割当元が具体的に指示することができる。対照的に、ランダムlucky moneyは、どのグループメンバがlucky moneyを受信するのかを割当元が具体的に指示することを可能にしない。代わりに、グループ内の全てのメンバがlucky moneyの割当を受信するものとして指示される。

【0029】

50

図5に示すように、受取人506とは割当対象である利用者である。割当元は、「よく働いているチーム」内の全てのメンバから、受取人としてのグループメンバを選択することができる。例えば図5では、「よく働いているチーム」とラベル付けされたグループ内に合計13人の人がいるが、割当元は受取人として3人のメンバを選択する。「よく働いているチーム」とラベル付けされたグループ内の合計13人の人から割当元が3人の人を割当対象として選択する場合、サーバは(割当元及び3人の割当対象を除く)残りの9人のグループメンバを通知対象だと自動で決定し得る。

#### 【0030】

更に、図5に示す「単独金額」とラベル付けされた構成フォーム508は、各割当対象に割り当てられるオブジェクト量を割当元が指定することを可能にする。図5では、割り当てべき合計オブジェクト量が $\$3000 * 3 = \$9000$ である。

10

#### 【0031】

割当元がlucky money構成ページ上でインスタントlucky moneyコントロール510を選択する場合、システムは「グループメンバへの同時ショートメッセージD I N G」に関するメッセージ通知操作を行うことができる。「グループメンバへの同時ショートメッセージD I N G」のテキスト表示は、システムがショートメッセージを送信することによってメッセージ通知を行うことを示す。ショートメッセージは、テキストメッセージとも呼ばれるショートメッセージサービス(S M S)メッセージとすることができ、マルチメディアメッセージングサービス(M M S)メッセージとすることもできる。同様に、割当元は「電話D I N G」又は「アプリケーション内D I N G」を選択して、電話又はインスタントメッセージングの方法を使用してメッセージ通知操作を実行することもできる。

20

#### 【0032】

システムは、選択されたインスタントlucky moneyのオプションをオブジェクト割当プロセス、例えばlucky money送信プロセスに適用することができる。例えば、図5又は図6に示す「グループメンバへの同時ショートメッセージD I N G」に基づいて割当元がインスタントlucky moneyコントロール510を選択した後、サーバはショートメッセージによって通知対象に通知することができる。サーバは、割当対象にショートメッセージを送信することもできる。ショートメッセージは、送信されているlucky moneyの詳細及びlucky moneyを受信するための方法を説明し得る。指示されたlucky moneyの受信方法に従ってサーバが割当対象からショートメッセージの応答を受信すると、サーバはlucky money又は他のオブジェクトを割当対象に割り当てることができる。

30

#### 【0033】

図5は、送信されているオブジェクトが資金であるアプリケーション画面を示す。資金源は、割当元に対応するアカウント(例えばオブジェクトセット)であり得る。他のアプリケーションのシナリオでは、オブジェクト及びオブジェクトセットが、本明細書で開示する例に限定されない他の形式のものである場合もある。

#### 【0034】

##### 実施形態II

別の例示的实施形態として、サーバはオブジェクト割当要求の送信者が割当元だと決定し、割当元によって指定される割当対象、通知対象、及び割り当てべきオブジェクト量を示すデータをオブジェクト割当要求から抽出することができる。換言すれば、割当元は割当対象、通知対象、及び割り当てべきオブジェクト量の全ての側面を前もって完全に指定することができる。

40

#### 【0035】

##### ギフトオブジェクト通知構成ページ

図6は、本発明の一実施形態による、例示的なギフトオブジェクト通知構成ページを示す概略図600を示す。図6に示すように、割当元は図5に示した実施形態と同様の方法を使用して受取人602を構成することができる。利用者が3人の人を選択する場合、それらの3人の人を割当対象と呼ぶ。受取人に関する構成方法と同様に、利用者は選択した3人の受取人以外の任意のグループメンバを通知対象604であるように選択することが

50

できる。通知対象は、図6の「知らせる」という語の横に表示される。例えば図6に示すように、利用者はグループの全メンバでなくても良い5人の人を通知対象であるように選択することができる。実施形態IIでは、割当対象と通知対象とが異なるグループに属することができる、割当元はアドレス帳から通知対象を任意に選択することができる。

#### 【0036】

割当元は、図6に示すギフトオブジェクト（この例ではlucky moneyである）構成ページ上で、割り当てるべきオブジェクト量を指定することができる。例えば割当元は、図6に示す「総額（ランダム割当）」とラベル付けされた構成フォーム606の数字を指定することができる。図6では、ランダム割当の総額が\$10000である。図5は、単独金額構成フォームを含むアプリケーション画面を示し、例えば割当対象のそれぞれは、図5に表示されているように\$3000である等量の割り当てるべきオブジェクトを受信する。対照的に、図6は「総額（ランダム割当）」構成フォームを含むアプリケーション画面を示す。つまり、システムは総額（例えば\$10,000）を全ての割当対象にランダムに割り当て、各割当対象が受信する金額は一定ではない。

10

#### 【0037】

図5に示す単独金額及び図6に示す総額（ランダム割当）は、割り当てるべきオブジェクト量に関する構成フォームである。様々な実施形態が、様々な種類の構成フォームのそれぞれを含み得る。例えば図5に示す単独金額のための構成フォームが、図6に示す実施形態に含まれても良い。図6に示す「総額（ランダム割当）」のための構成フォーム606が、図5に示す実施形態に含まれても良い。割当元は現在使用されている構成フォームを選択することができ、又は既定の構成フォームを直接使用することができる。それに従ってサーバは、割当元によって選択される構成フォームに準拠する対応するオブジェクト割当規則を使用することにより、割り当てるべきオブジェクトの妥当な割当を行う必要があり得る。サーバは、既定の構成フォームに対応する既定の規則に従い、割り当てるべきオブジェクトの割当を行うこともできる。

20

#### 【0038】

システムは他の構成フォームも使用することができる。例えばシステムは、割り当てるべきオブジェクト量の全てを均等に割り当てることできる（最終的な割当を図5に示すが構成プロセスは異なる）。システムは、割当対象ごとにオブジェクト量を別々に構成することもできる（例えば利用者Aは1000、利用者Bは3000、利用者Cは5000）。本発明の実施形態は本明細書で示した構成フォームの例に限定されない。

30

#### 【0039】

更に図5及び図6に示すように、lucky money構成ページ上で、利用者は様々なlucky moneyの事例を区別し且つ識別するために、lucky moneyを送信するとき「成績の良い従業員向けのQ3報酬」等の対応する説明608を追加することができる。

#### 【0040】

### 2. オブジェクト割当 - オブジェクトを割り当てるためのプロセス

操作208で、システムは様々な方法を使用して割り当てるべきオブジェクトを割当対象に割り当てることできる。オブジェクト割当方法の一例を以下で説明する。

#### 【0041】

図7は、本発明の一実施形態による、オブジェクトを割り当てるための例示的プロセスを示す流れ図700を示す。図7に示すように、割当対象がモバイル装置702上で対応する登録済みアカウントにログオンすると、モバイル装置702及びサーバ704が以下の操作に従ってインタラクトすることができる。

40

#### 【0042】

サーバ704が、セッションメッセージをモバイル装置702にプッシュすることができる（操作706）。

#### 【0043】

モバイル装置702が、受信されるセッションメッセージに従って事前設定されたトリガアイコンを表示することができる（操作708）。事前設定されたトリガアイコンとは

50

、割当操作及び／又は割当操作の通知において、オブジェクトを受信することに関連する情報を承認し、開き、且つ／又は閲覧するために利用者がクリックできるアイコンである。

【0044】

モバイル装置702がトリガ操作を検出することができる(操作710)。

【0045】

モバイル装置702が、検出されるトリガ操作に従ってトリガ要求をサーバ704に送信することができる(操作712)。

【0046】

サーバ704が、受信されるトリガ要求に従って割り当てるべきオブジェクトを割り当てることができる(操作714)。

【0047】

セッションメッセージは、事前設定されたトリガアイコンを示すデータを含むことができ、モバイル装置702は、事前設定されたトリガアイコンを示すデータをセッションメッセージから抽出し、事前設定されたトリガアイコンを事前設定されたページ上で表示することができる。或いはセッションメッセージは、事前設定されたトリガアイコンを表示するようにシステムがモバイル装置702に通知するために使用し得る通知メッセージに過ぎない。

【0048】

例えば図5及び図6は、lucky moneyの送信シナリオにおける受取人として利用者Shelbyをそれぞれ含む。図5及び図6に示すように、割当元はlucky moneyの受取人として利用者Shelbyを選択することができ、例えば利用者Shelbyが割当対象である。利用者Shelbyはモバイル装置702上で登録済みアカウントにログオンすることができ、図8に示すようにシステム(例えば利用者Shelbyのモバイル装置)が、「よく働いているチーム」とラベル付けされたグループのためのメッセージセッションウィンドウを表示することができる。

【0049】

ギフトオブジェクトを受信したときのメッセージセッションウィンドウ

図8は、本発明の一実施形態による、ギフトオブジェクトを受信したときの例示的なメッセージセッションウィンドウを示す概略図800を示す。図8に示すように、(例えば利用者Shelbyがログオンしている)モバイル装置702が、「よく働いているチーム」とラベル付けされたグループのメッセージセッションウィンドウを表示することができる。図8に示すように、利用者Shelbyは、利用者Garyによって送信されたlucky moneyアイコン804を含むギフトオブジェクトメッセージ802を閲覧することができる。

【0050】

一実施形態では、事前設定されたトリガアイコンが、図8に示すlucky moneyアイコン804であり得る。図8に示されているlucky moneyアイコン804を利用者Shelbyがクリックした後、モバイル装置702はトリガ操作としてのクリックに応答することができる。サーバ704がlucky moneyから利用者Shelbyに対応する金額(例えば\$3000)を割り当てるために、モバイル装置702がサーバ704にトリガ要求を発行することができる。

【0051】

図9は、本発明の一実施形態による、利用者がギフトオブジェクトを受信し閲覧したときの例示的な重畳コンテンツを示す概略図900を示す。図8に示すlucky moneyアイコン804を利用者Shelbyがクリックした後、システム(例えばモバイル装置702)は現在のメッセージセッションウィンドウ上に図9に示すコンテンツ902を重畳し表示することができる。事前設定されたトリガアイコンの例は、図8に示すlucky moneyアイコン及び図9に示す「Lucky Moneyを開く」アイコン904を含み得る。つまり、利用者Shelbyが図8に示すlucky moneyアイコン804をクリックし、図9に示す「Lucky Moneyを開く」アイコン904をクリックすると、モバイル装置702はトリガ操作として利用者Sh

10

20

30

40

50

elbyによって行われるクリックに応答することができる。サーバ704がlucky moneyから利用者Shelbyに対応する金額（例えば\$3000）を割り当てるために、モバイル装置702がサーバ704にトリガ要求を発行することができる。

#### 【0052】

一部の実施形態では、モバイル装置が、割当元から通知対象へのメッセージを読むためのテキスト音声変換器を含み得る。モバイル装置は、割当資金を伴うギフトオブジェクトを受信するとき或る技法を使用してアイコンをアニメーション化する一方、割当資金を伴わない通知だけを受信するとき別の異なる技法を使用して同じ（又は異なる）アイコンをアニメーション化することを含め、アイコンをアニメーション化することもできる。一部の実施形態では、利用者がモバイル装置上の指紋スキャナを使用してモバイル装置にログオンすることができ、システムはその利用者が割当オブジェクトを受信している割当対象だと決定し得る。その利用者が割当対象だと決定することに応答し、システムは図9に示すコンテンツ902を直接表示し、それにより割当オブジェクトへのアクセスを加速することができる。システムは、利用者が指紋スキャナを使用してログインすることを検出すること、及びコンテンツ902を表示することに応答し、割当元、サーバ、及び/又は他のグループメンバのモバイル装置にメッセージを自動で送信することもできる。サーバは、ギフトオブジェクトから利用者に対応する金額を割り当てることによってメッセージに応答することができる。

10

#### 【0053】

図10は、本発明の一実施形態による、事前設定されたトリガアイコンを有する例示的なメッセージセッションウィンドウを示す概略図1000を示す。図8及び図9は例示的な事前設定されたトリガアイコンを示すが、システム（例えばモバイル装置702）は他の形式の事前設定されたトリガアイコンを表示することができる。例えば図10に示すように、利用者Shelbyがlucky moneyアイコン1002をクリックした後、システムはメッセージセッションウィンドウの上部に事前設定されたトリガアイコン「Lucky Moneyを開く」アイコン1004等のメッセージを表示することができる。利用者Shelbyはその後、図7に関して図示し説明したようにモバイル装置702を使って操作を行うことができる。

20

#### 【0054】

図9又は図10に示す実施形態では、モバイル装置702が、事前設定されたトリガアイコンを表示する前にメッセージを表示することもできる。例えばそのメッセージは、割当元が利用者Garyだと示し、全ての割当対象を列挙し、利用者が「受信の詳細を閲覧する」をクリックしてlucky moneyを受信するための詳細を閲覧できることを示し得る。メッセージは、各割当対象についてlucky moneyを受信するための詳細を表示することもできる。

30

#### 【0055】

一部の実施形態では、システムがサイドバーウィンドウ内にlucky moneyアイコン1002等の事前設定されたトリガアイコンを表示することもできる。サイドバーウィンドウは、lucky moneyを受信するために分けて使用されるlucky money受信ウィンドウであり得る。システムは、企業の金融アカウント及び利用者Shelbyに関連する独立したセッションウィンドウ内に、lucky moneyを受信するための事前設定されたトリガアイコンとしてlucky moneyアイコン1002を表示することもできる。

40

#### 【0056】

### 3. メッセージの通知

操作208で、システムは様々な方法を適用して、割当操作に係るメッセージを通知対象に通知することができる。メッセージの通知方法については具体例を使用して以下で説明している。

#### 【0057】

システムは、割り当てるべきオブジェクトを通知対象に割り当てることなしに割当対象にだけ割り当てることができるが、その割当操作に係るメッセージを依然として通知

50

対象に通知することができる。かかる通知は、それに対応して一層働くように通知対象を鼓舞する。例えば企業管理又はチーム管理のシナリオでは、資金又は他の賞（例えばオブジェクト）を従業員（例えば割当対象）の一部に直接与え、その報酬を受信しない他の従業員（例えば通知対象）に報酬情報を与えることができる。報酬を与えられない従業員はより学び、一層働くように鼓舞され得る。

#### 【0058】

一実施形態では、サーバが既定の方法を使用してメッセージの通知対象に通知することができる。或いはサーバは、オブジェクト割当要求内で割当元によって指定された通知方法を判定し、その通知方法に従って割当操作に関係するメッセージを通知対象に通知することもできる。サーバにとって、例として以下で説明する多くの任意選択的な通知方法がある（例えば割当元はそれらの通知方法の何れかを選択することができる）。

10

#### 【0059】

通知を受信したときのメッセージセッションウィンドウ

図11は、本発明の一実施形態による、通知を受信したときの例示的なメッセージセッションウィンドウを示す概略図1100を示す。図11に示すように、サーバは通知対象がログオンしている電子装置1102に通知メッセージを送信することができる。例えば図11では通知対象が利用者Bobbyであり得る。電子装置1102は、図8に示したlucky moneyアイコン804と同様のlucky moneyアイコンである事前設定されたトリガアイコンを表示することができる。Bobbyが事前設定されたトリガアイコンをクリックした後、図11に示すようにシステムが重畳ページ1104を表示することができる。図11と図9との比較で、利用者Bobbyの表示画面上では割当操作に関係するメッセージしか閲覧することができない。メッセージは、割当元が利用者Garyであること、全ての割当対象、割り当てられるオブジェクトの量、及びオブジェクトの受信に関連する各割当対象のステータス（例えば更なる詳細を閲覧するには「受信の詳細を閲覧する」をクリックすることができる）のうちの少なくとも1つを含み得る。更に、図11に示す画面は「Lucky Moneyを開く」アイコンを表示しないので、利用者Bobbyはlucky moneyから資金又は他の任意のオブジェクトの割当を受信することができない。

20

#### 【0060】

図12は、本発明の一実施形態による、割当を受信することなしにギフトオブジェクトの通知を受信したときの別の例示的なメッセージセッションウィンドウを示す概略図1200を示す。図10と同様に、図12に示す実施形態では、システム（例えばモバイル装置1202）がメッセージセッションウィンドウ1206の上部に重畳ページ1204を表示することができる。しかし図12では、「Lucky Moneyを開く」アイコン（例えば「Lucky Moneyを開く」アイコン1004等）が表示されていないので、利用者Bobbyはlucky moneyから資金又は他の任意の報酬オブジェクトの割当を受信することができない。

30

#### 【0061】

利用者Bobbyは、図8に示したのと同様のlucky moneyアイコン1208を最初にクリックすることができる。このクリック操作は、割当操作に関係するメッセージを表示するための既定のトリガ操作である。既定のトリガ操作は他の形式のものとすることもできる。例えば既定のトリガ操作は、グループのメッセージセッションウィンドウを開くための操作であり得る。利用者Bobbyがログオンしているモバイル装置1202がサーバから通知メッセージを受信した後、利用者Bobbyは対応するグループのメッセージセッションウィンドウを電子装置上で単純にクリックして始めることができる。次いでシステムは、図11又は図12に示す形式の1つで割当操作に関係するメッセージを自動で表示することができる。自動で表示することは、関係するメッセージを利用者Bobbyが直ちに閲覧できることを保証し、それにより利用者Bobbyは、グループ内に過大なメッセージがあるとき複数のページを手動でスクロールする必要なしにlucky moneyアイコンを閲覧しクリックすることができる。

40

#### 【0062】

通知及び割当の通信方法

50

利用者Garyが「よく働いているチーム」のグループにlucky moneyを送信する場合、グループメンバは、グループのメッセージセッションウィンドウを使用してlucky moneyを受信しメッセージを閲覧するための操作を行うことができる。一部の実施形態ではサーバが、グループのメッセージセッションウィンドウを関与させない方法を使用して、割当操作に関係するメッセージを通知対象に表示することができる。例えばサーバは、インスタントメッセージ、テキストメッセージ、及び電子メールを含む様々な方法を使用して割当操作に関係するメッセージを含む通信情報を通知対象に送信することができる。サーバは、割当操作に関係するメッセージを音声メッセージに変換し、通知対象との呼を確立した後でその音声メッセージをブロードキャストすることもできる。或いはサーバは、本明細書で開示する様々なメッセージ通知方法を同時に使用して、対応するメッセージコンテンツを通知対象が時間通りに受信し閲覧できることを保証し得る。図5及び図6に示すように、割当元がlucky money構成ページ上でインスタントlucky moneyコントロールを選択する場合、システムは「グループメンバへの同時ショートメッセージD I N G」に関するメッセージ通知操作を行うことができる。「グループメンバへの同時ショートメッセージD I N G」のテキスト表示は、システムがショートメッセージを送信することによってメッセージ通知を行うことを示す。ショートメッセージは、テキストメッセージとも呼ばれるSMSメッセージとすることができ、MMSメッセージとすることもできる。同様に、割当元は「電話D I N G」又は「アプリケーション内D I N G」を選択して、電話又はインスタントメッセージングの方法を使用してメッセージ通知操作を実行することもできる。

10

#### 【0063】

20

システムは、選択されたインスタントlucky moneyのオプションをオブジェクト割当プロセス、例えばlucky money送信プロセスに適用することができる。例えば、図5又は図6に示す「グループメンバへの同時ショートメッセージD I N G」に基づいて割当元がインスタントlucky moneyコントロール510を選択した後、サーバはショートメッセージによって通知対象に通知することができる。サーバは、割当対象にショートメッセージを送信することもできる。ショートメッセージは、送信されているlucky moneyの詳細及びlucky moneyを受信するための方法を説明し得る。指示されたlucky moneyの受信方法に従って割当対象からショートメッセージの応答をサーバが受信すると、サーバはlucky money又は他のオブジェクトを割当対象に割り当てることができる。

#### 【0064】

30

或いは、「電話D I N G」に基づいて割当元がインスタントlucky moneyコントロールを選択した後、サーバはネットワーク上で発呼して通知対象に通知することができる。サーバは割当対象を呼び出し、lucky moneyの詳細並びにlucky money及び/又は他の任意の割当オブジェクトを受信するための方法をブロードキャストすることができる。それに応じて割当対象は電話インタフェースのダイヤルパッドによって文字列を入力ことができ、又は音声通話を確立することができる。文字列又は音声通話を受信した後、サーバは、その文字列又は音声通話のコンテンツが所定のコンテンツと一致する場合にlucky money又は他のオブジェクトを割当対象に割り当てることができる。

#### 【0065】

40

ショートメッセージ及び通話は、インスタントメッセージングアプリケーション等のアプリケーションの内部メッセージと比較して強く思い出させることが多々ある。従って、ショートメッセージ及び通話は、割当対象がlucky money等の割当オブジェクトを適時に受信するのを助けるのに効果的であり、通知対象に対する適時の及び効果的な通知を保証し得る。

#### 【0066】

##### 電子装置

図13は、本発明の一実施形態による、グループメンバ間でオブジェクトを割り当てるための電子装置1300の例示的なシステムアーキテクチャを示す概略図を示す。ハードウェア層において、電子装置は、プロセッサ1302、内部バス1304、ネットワークインタフェース1306、RAM1308、及び不揮発性メモリ1310を含み得る。電

50



子装置 1300 は不図示の他のハードウェアも含み得る。プロセッサ 1302 は、不揮発性メモリ 1310 から RAM 1308 内にオブジェクト割当コンピュータプログラムを読み出した後、オブジェクト割当コンピュータプログラムを実行することができる。コンピュータプログラムは、割当対象へのオブジェクトの割当を含む本明細書に記載のプロセスを実行することができる。

【0067】

グループメンバー間でオブジェクトを割り当てるための機器

図 14 は、本発明の一実施形態による、グループメンバー間でオブジェクトを割り当てるための機器 1400 の例示的なシステムアーキテクチャを示す概略図を示す。機器 1400 は、決定モジュール 1402、抽出モジュール 1404、及び処理モジュール 1406

10

【0068】

決定モジュール 1402 はオブジェクト割当要求を受信し、受信したオブジェクト割当要求に基づいて割当元、割当対象、通知対象、及び割り当てるべきオブジェクト量（例えばオブジェクトの数量）を決定することができる。

【0069】

抽出モジュール 1404 は、割当元に対応するオブジェクトセットから、割り当てるべきオブジェクト量に対応する割り当てるべきオブジェクトを抽出することができる。

【0070】

処理モジュール 1406 は、割り当てるべきオブジェクトを割当対象に割り当て、割当操作に関するメッセージを通知対象に通知することができる。

20

【0071】

決定モジュール 1402 は、オブジェクト割当要求の送信者が割当元だと決定することもできる。決定モジュール 1402 は、割当元によって指定される割当対象、通知対象、及び割り当てるべきオブジェクト量を示すデータをオブジェクト割当要求から抽出することができる。割当元が或るグループへのオブジェクト割当要求を送信する場合、通知対象は割当元を除き且つ割当対象を除くそのグループのメンバーである。

【0072】

一部の実施形態では、グループがインスタントメッセージングアプリケーション内のグループである。任意選択的に、インスタントメッセージングアプリケーションはエンタープライズインスタントメッセージングアプリケーションである。一部の実施形態では、割当対象がログオンしている計算装置にセッションメッセージをプッシュすることを含む操作を行うことにより、処理モジュール 1406 が、割り当てるべきオブジェクトを割当対象に割り当てる。計算装置は、対応する事前設定されたトリガアイコンを表示することによってセッションメッセージの受信に回答することができる。

30

【0073】

計算装置から送信される事前設定されたトリガ要求を受信することに対応し、システムは割り当てるべきオブジェクトを割当対象に割り当てることができる。事前設定されたトリガ要求は、事前設定されたトリガアイコンに対するトリガ操作を割当対象が行うのを検出することに対応して、計算装置によって送信され得る。

40

【0074】

一部の実施形態では、割り当てるべきオブジェクトを割当対象に割り当てること、既定のオブジェクト割当規則及びオブジェクト割当要求内に含まれるオブジェクト割当規則の少なくとも 1 つに従って、対応するオブジェクト量を各割当対象に割り当てることを含み得る。

【0075】

オブジェクト割当規則は、均等に割り当てること、ランダムに割り当てること、及び割当元によって指定される割当対象ごとの割当量に従って割り当てることのうちの少なくとも 1 つを指定し得る。

【0076】

50

処理モジュール1406は、以下に記載の操作を行うことによって割り当てるべきオブジェクトを割当対象に割り当てることができる。

【0077】

処理モジュール1406が発呼して割当対象に通知することができる。処理ユニット1406は割当対象を呼び出し、割り当てるべきオブジェクトを受信するための方法をブロードキャストすることができる。割当対象は、電話インタフェースによって文字列を入力することができる、又は音声通話を確立することができる。文字列又は音声通話を受信した後、処理ユニット1406は、その文字列又は音声通話のコンテンツが所定のコンテンツと一致する場合に、割り当てるべきオブジェクトを割当対象に割り当てることができる。

【0078】

処理モジュール1406は、割当元によって指定される通知方法を示すデータを、オブジェクト割当要求から抽出し、その通知方法に従って、割当操作に関するメッセージを通知対象に通知することによって、割当操作に関するメッセージを通知対象に通知することができる。

【0079】

処理モジュール1406は、通知対象に通知メッセージをプッシュすることによって割当操作に関するメッセージを通知対象に通知することができる。通知対象がログオンしている計算装置が既定のトリガ操作を検出し、割当操作に関するメッセージを表示することができる。

【0080】

割当元、割当対象、及び通知対象は同じグループからとすることができ、既定のトリガ操作はグループのメッセージセッションウィンドウを開くことを含み得る。

【0081】

例示的实施形態

本開示の実施形態は割当操作を行うためのシステムを含む。操作中、システムは割当元に関連する計算装置からオブジェクト割当要求を受信することができる。システムは、オブジェクト割当要求に基づいて割当元、1つ又は複数の割当対象、1つ又は複数の通知対象、及び割り当てるべきオブジェクト量を決定することができる。システムは、割当元に対応するオブジェクトセットから、割り当てるべきオブジェクト量に対応する割り当てるべきオブジェクトを抽出することができる。システムは、割り当てるべきオブジェクトを割当対象に割り当てることができる。システムは、割当操作に関するメッセージを通知対象に通知することができる。

【0082】

この実施形態に対する変形例では、受信されるオブジェクト割当要求に基づいて割当元、割当対象、通知対象、及び割り当てるべきオブジェクト量を決定することが、オブジェクト割当要求の送信者が割当元だと決定することを含む。システムは、割当元によって指定される割当対象、通知対象、及び割り当てるべきオブジェクト量を示すデータをオブジェクト割当要求から抽出することもできる。

【0083】

この実施形態に対する変形例では、受信されるオブジェクト割当要求に基づいて割当元、割当対象、通知対象、及び割り当てるべきオブジェクト量を決定することが、オブジェクト割当要求の送信者が割当元だと決定することを含む。システムは、割当対象及び割り当てるべきオブジェクト量を示すデータをオブジェクト割当要求から抽出することができる。割当元はグループへのオブジェクト割当要求を送信ことができ、通知対象は割当元を除き且つ割当対象を除くそのグループのメンバである。

【0084】

この実施形態に対する変形例では、グループがインスタントメッセージングアプリケーション内のグループである。

【0085】

更なる変形例では、インスタントメッセージングアプリケーションがエンタープライズ

10

20

30

40

50

インスタントメッセージングアプリケーションである。

【0086】

この実施形態に対する変形例では、割り当てるべきオブジェクトを割当対象に割り当てること、割当対象がログオンしている第2の計算装置にセッションメッセージをプッシュすることを含む。第2の計算装置は、事前設定されたトリガアイコンを表示することによってセッションメッセージの受信に応答することができる。第2の計算装置から送信される事前設定されたトリガ要求を受信することによって応答し、システムは割り当てるべきオブジェクトを割当対象に割り当てること、事前設定されたトリガ要求は、事前設定されたトリガアイコンに対するトリガ操作を割当対象が行うのを検出することによって応答して、第2の計算装置によって送信されることに留意されたい。

10

【0087】

この実施形態に対する変形例では、割り当てるべきオブジェクトを割当対象に割り当てること、既定のオブジェクト割当規則及びオブジェクト割当要求内に含まれる特定のオブジェクト割当規則の少なくとも1つに従って、対応するオブジェクト量を各割当対象に割り当てることを含む。

【0088】

更なる変形例では、オブジェクト割当要求内に含まれる特定のオブジェクト割当規則が、均等に割り当てること、ランダムに割り当てること、及び割当元によって指定される割当対象ごとの割当量に従って割り当てることのうち少なくとも1つを指定する。

【0089】

この実施形態に対する変形例では、割り当てるべきオブジェクトを割当対象に割り当てること、ネットワーク上で割当対象と音声通話を確立し、割当オブジェクトを受信するための方法をブロードキャストすることを含む。特定の割当対象が、電話インタフェースによって文字列を入力すること及び音声通話を確立することのうち少なくとも1つを行うことができる。文字列及び音声通話の少なくとも1つを受信することによって応答し、システムは文字列又は音声通話のコンテンツが所定のコンテンツと一致すると判定し、割り当てるべきオブジェクトを特定の割当対象に割り当てること、事前設定されたトリガ要求は、事前設定されたトリガアイコンに対するトリガ操作を割当対象が行うのを検出することによって応答して、第2の計算装置によって送信されることに留意されたい。

20

【0090】

この実施形態に対する変形例では、割当操作に関するメッセージを通知対象に通知することが、割当元によって指定される通知方法を示すデータを、オブジェクト割当要求から抽出することを含む。システムは、その通知方法に従って、割当操作に関するメッセージを通知対象に通知することができる。

30

【0091】

この実施形態に対する変形例では、割当操作に関するメッセージを通知対象に通知することは、特定の通知対象がログオンしている計算装置に通知メッセージをプッシュすることを含む。計算装置は既定のトリガ操作を検出ことができ、既定のトリガ操作を検出することによって応答して、割当操作に関するメッセージを表示する。

【0092】

更なる変形例では、割当元、割当対象、及び通知対象がグループのメンバであり、既定のトリガ操作は、グループのメッセージセッションウィンドウを開くユーザ入力を計算装置が受信することを含む。

40

【0093】

本開示の実施形態は、複数のメンバを有するインスタントメッセージンググループ内の通信のためのコンピュータによって実施される方法も含み得る。操作中、システムは、利用者の計算装置において少なくとも第1のギフトオブジェクトモードのオプション及び第2のギフトオブジェクトモードのオプションを有するグラフィカルユーザインタフェースを表示することができる。第1のギフトオブジェクトモードのオプションは、グループチャットウィンドウに第1の種類ギフトオブジェクトメッセージを送信するために利用者によって選択可能であり、それによりインスタントメッセージンググループの各メンバはギフトオブジェクトの少なくともメッセージ部分を得る機会を有する。第2のギフトオブ

50

ジェクトモードのオプションは、グループチャットウィンドウに第2の種類のギフトオブジェクトメッセージを送信するために利用者によって選択可能であり、それにより第2の種類のギフトオブジェクトメッセージによって指定されたメンバだけがギフトオブジェクト又はその一部を受信することができる。

【0094】

システムは、ユーザ入力を受信して第2のギフトオブジェクトモードのオプションを選択することができる。システムは、第2の種類のギフトオブジェクトの少なくとも一部をそれぞれ受信する1人又は複数のメンバのユーザ選択を受信することができる。次いでシステムは、選択されたメンバのそれぞれに割り当てるべきオブジェクト量を示すユーザ入力を受信することができる。次いでシステムは、利用者が定めた量に対応する割り当てるべきオブジェクトをオブジェクトセットから抽出し、選択されたメンバにオブジェクトを割り当てることができる。

10

【0095】

例示的サーバ

図15は、本願の一実施形態による、グループメンバ間でオブジェクトを割り当てるための例示的なサーバ1500を示す概略図を示す。サーバ1500は、プロセッサ1510、メモリ1520、及び記憶装置1530を含み得る。記憶域1530は、典型的には上記の方法を実行するためにメモリ1520内にロードされ、プロセッサ1510によって実行され得る命令を記憶する。一実施形態では、記憶域1530内の命令が、様々な手段によって互いに通信することができる決定モジュール1542、抽出モジュール1544、及び処理モジュール1546を実装することができる。

20

【0096】

一部の実施形態では、モジュール1542~1546をハードウェアによって部分的に又は完全に実装することができる、プロセッサ1510の一部とすることができる。更に一部の実施形態では、サーバが別個のプロセッサ及びメモリを含まなくても良い。代わりに、自らの特定のタスクを実行することに加えて、モジュール1542~1546は別々に又は提携して専用計算エンジンの一部とすることができる。

【0097】

記憶域1530はプロセッサ1510によって実行されるプログラムを記憶する。とりわけ、記憶域1530はグループメンバ間でオブジェクトを割り当てるためのサーバ(例えばアプリケーション)を実装するプログラムを記憶する。操作中、アプリケーションプログラムが記憶域1530からメモリ1520内にロードされ、プロセッサ1510によって実行され得る。その結果、サーバ1500が上記の機能を実行することができる。サーバ1500は、任意選択的なディスプレイ1580を更に含むことができ、1つ又は複数のネットワークインタフェースを介してネットワーク1582に結合され得る。

30

【0098】

決定モジュール1542はオブジェクト割当要求を受信し、そのオブジェクト割当要求に基づいて割当元、割当対象、通知対象、及び割り当てるべきオブジェクト量(例えばオブジェクトの数量)を決定することができる。

【0099】

抽出モジュール1544は、割当元に対応するオブジェクトセットから、割り当てるべきオブジェクト量に対応する割り当てるべきオブジェクトを抽出することができる。

40

【0100】

処理モジュール1546は、割り当てるべきオブジェクトを割当対象に割り当て、割当操作に係るメッセージを通知対象に通知することができる。

【0101】

本発明の実施形態は、様々な汎用又は専用のコンピュータシステム環境又は構成上に実装され得る。例えばコンピュータシステムは、パーソナルコンピュータ、サーバコンピュータ、手持型又は携帯型装置、タブレット型装置、マルチプロセッサシステム、マイクロプロセッサベースのシステム、セットトップボックス、プログラム可能な電子的消費装置

50

、ネットワークPC、ミニコンピュータ、メインフレームコンピュータ、上記のシステム又は装置の何れかを含む分散計算環境等を含み得る。

【0102】

本発明の実施形態は、プログラムモジュール等、コンピュータによって実行されるコンピュータ実行可能命令との一般的な関係で説明されている可能性がある。概してプログラムモジュールは、特定のタスクを実装するための又は特定の抽象データ型を実現するためのルーチン、プログラム、オブジェクト、アセンブリ、データ構造等を含み得る。本発明の実施形態は分散計算環境内でも実装することができ、かかる環境ではタスクが通信ネットワークによって接続される遠隔処理装置によって実行される。分散計算環境では、プログラムモジュールが、記憶装置を含み得るローカル及びリモートのコンピュータ記憶媒体内に位置し得る。

10

【0103】

この詳細な説明の中で説明したデータ構造及びコンピュータ命令はコンピュータ可読記憶媒体上に典型的には記憶され、かかるコンピュータ可読記憶媒体は、コンピュータシステムが使用するためのコード及び/又はデータを記憶し得る任意の装置又は媒体であり得る。コンピュータ可読記憶媒体は、これだけに限定されないが、揮発性メモリ、不揮発性メモリ、ディスクドライブ、磁気テープ、CD（コンパクトディスク）、DVD（デジタル多用途ディスク、又はデジタルビデオディスク）等の磁気記憶装置及び光学記憶装置、又はコンピュータ可読媒体を記憶可能な現在知られている若しくは後に開発される他の媒体を含み得る。

20

【0104】

詳細な説明の節の中で説明した方法及びプロセスは、上記のようにコンピュータ可読記憶媒体内に記憶され得るコード及び/又はデータとして具体化することができる。コンピュータシステムがコンピュータ可読記憶媒体上に記憶されたコード及び/又はデータを読み出し実行するとき、コンピュータシステムはデータ構造及びコードとして具体化され、コンピュータ可読記憶媒体内に記憶される方法及びプロセスを実行する。

【0105】

更に、本明細書で説明した方法及びプロセスは、ハードウェアモジュール又は機器内に含めることができる。これらのモジュール又は機器は、これだけに限定されないが、特定用途向け集積回路（ASIC）チップ、書替え可能ゲートアレイ（FPGA）、特定の時点において特定のソフトウェアモジュール又はコード片を実行する専用プロセッサ又は共用プロセッサ、及び/又は現在知られている若しくは後に開発される他のプログラム可能論理装置を含み得る。ハードウェアモジュール又は機器が活性化されると、それらのモジュール又は機器は自らの中に含まれる方法及びプロセスを実行する。

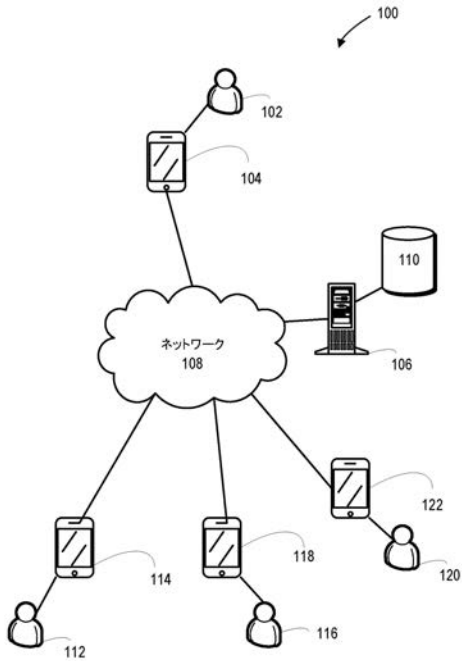
30

【0106】

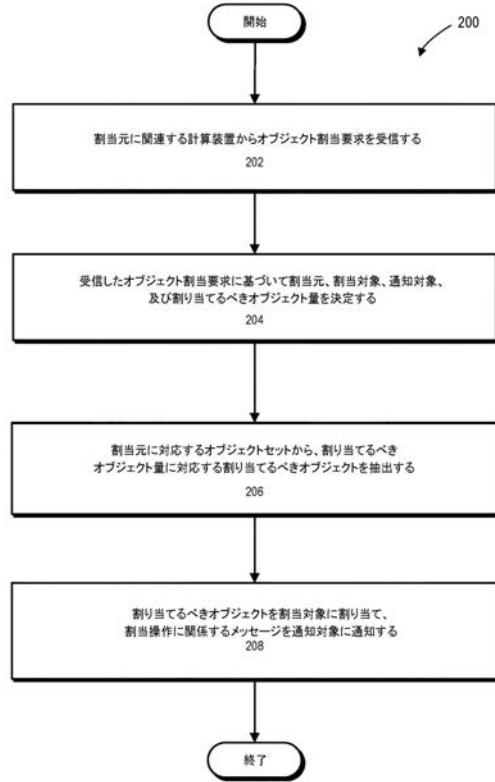
上記の説明は、任意の当業者が実施形態を作成し使用できるようにするために示しており、特定の応用例及びその要件との関係で提供している。開示した実施形態に対する様々な修正形態が当業者に容易に明らかになり、本開示の趣旨及び範囲から逸脱することなしに、本明細書で定めた全般的な原理を他の実施形態及び応用例に適用することができる。従って、本発明は示してきた実施形態に限定されず、本明細書で開示した原理及び特徴と一致する最も広範な範囲を与えられるべきである。

40

【 図 1 】



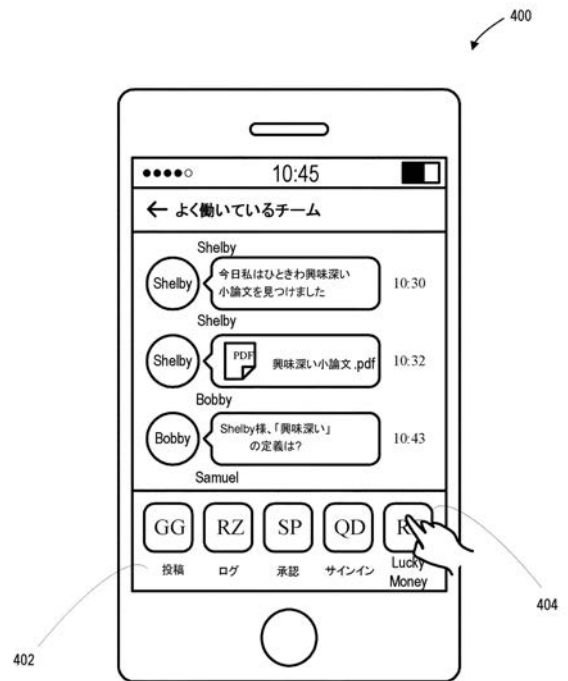
【 図 2 】



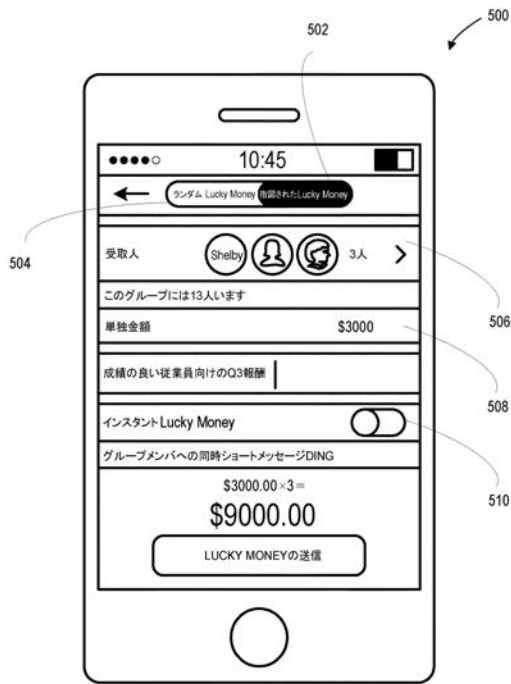
【 図 3 】



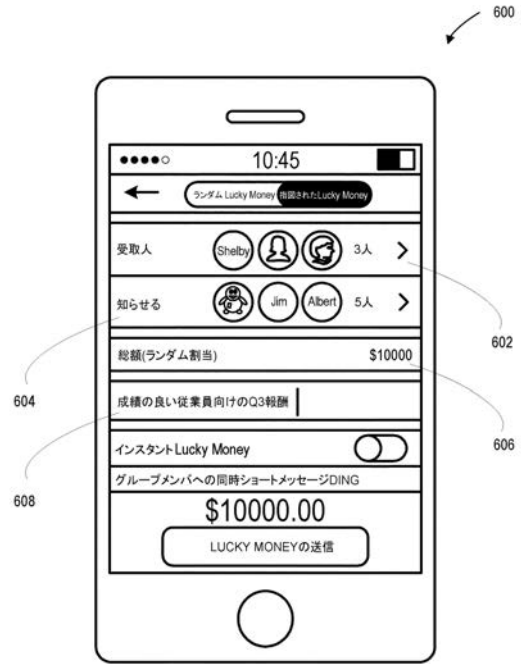
【 図 4 】



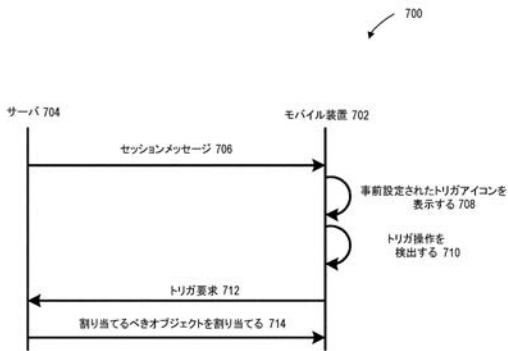
【 図 5 】



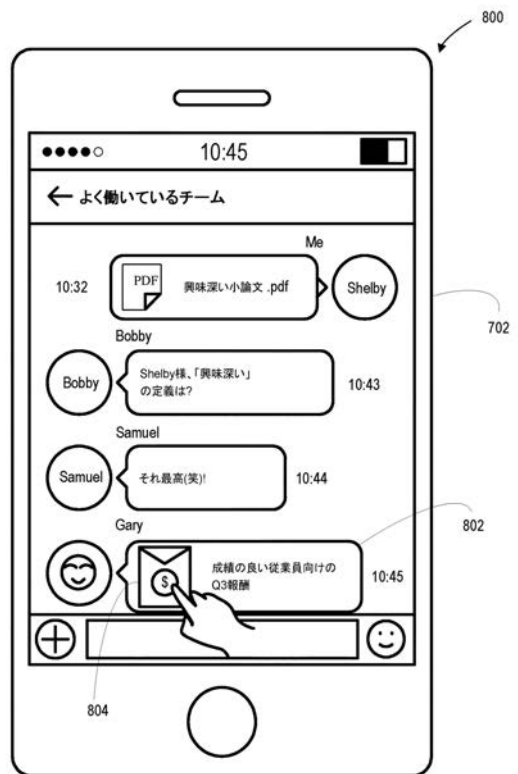
【 図 6 】



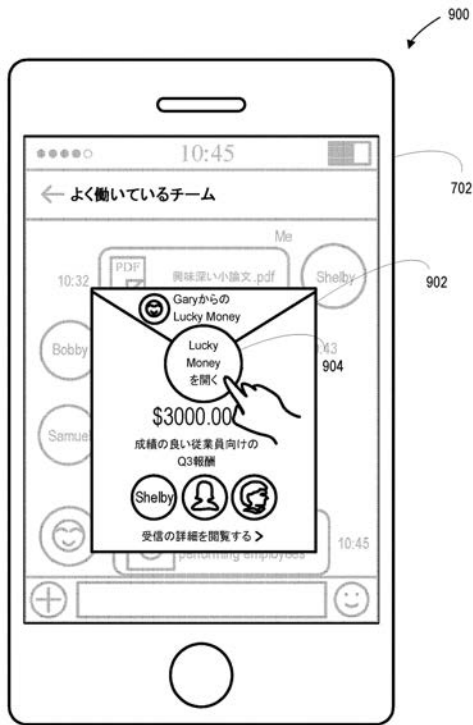
【 図 7 】



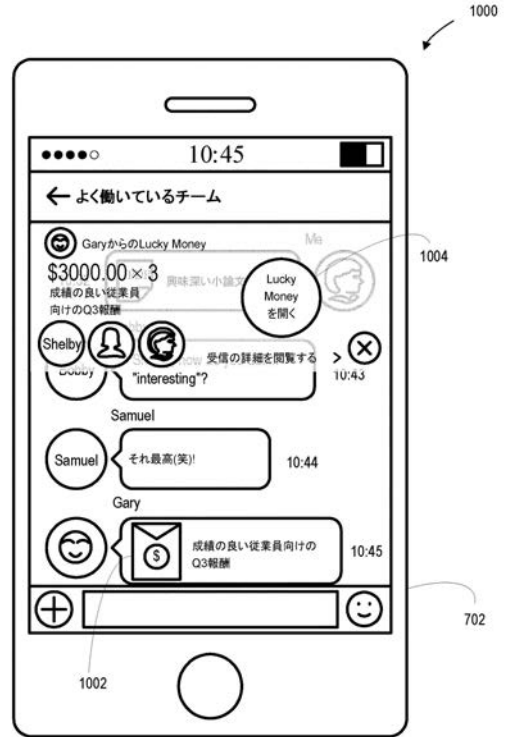
【 図 8 】



【 図 9 】



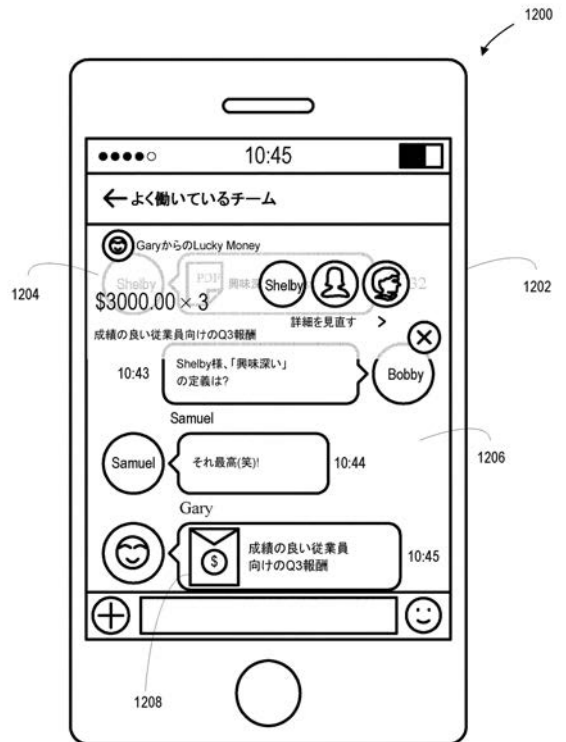
【 図 10 】



【 図 11 】

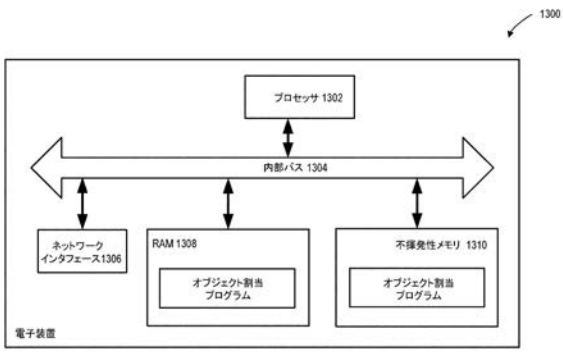


【 図 12 】





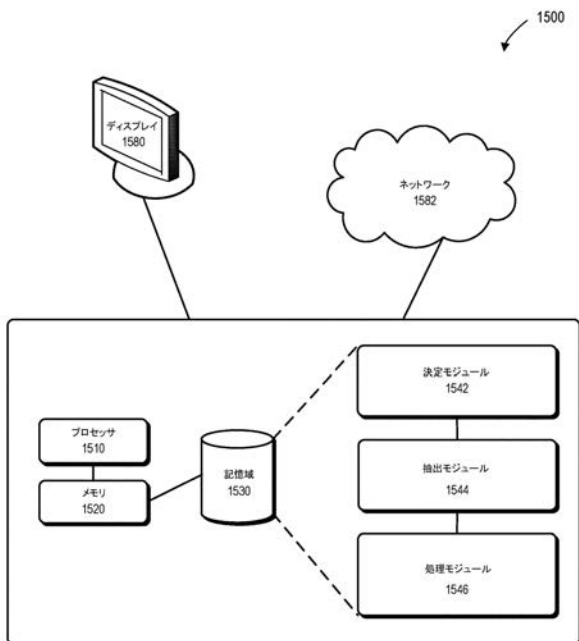
【図 13】



【図 14】



【図 15】



## 【 国際調査報告 】

INTERNATIONAL SEARCH REPORT		International application No. PCT/US2016/087807
<b>A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER</b> IPC(8) - H04W 4/06; G06F 9/44; G06Q 20/08; H04W 4/12 (2016.01) CPC - G06Q 20/405; H04L 51/24; G06F 3/0484; G06Q 20/10; H04L 51/32; H04L 12/1813; G06Q 50/01 (2016.08)		
According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC		
<b>B. FIELDS SEARCHED</b>		
Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols) See Search History document		
Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched USPC - 705/14.32; 705/14.33; 709/206; 705/26.5; 709/217 (keyword delimited)		
Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used) See Search History document		
<b>C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT</b>		
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	US 2015/0310567 A1 (TENCENT TECHNOLOGY (SHENZHEN) COMPANY LIMITED) October 29, 2015 (29.10.2015) entire document	1-20
A	US 8,548,865 B1 (HO) 01 October 2013 (01.10.2013) entire document	1-20
A	US 2010/0023341 A1 (LEDBETTER et al) 28 January 2010 (28.01.2010) entire document	1-20
A	US 2013/0080580 A1 (NAGAI et al) 28 March 2013 (28.03.2013) entire document	1-20
A	WO 15113458 A1 (TENCENT TECHNOLOGY (SHENZHEN) COMPANY LIMITED) August 06, 2015 (06.08.2015) entire document	1-20
<input type="checkbox"/> Further documents are listed in the continuation of Box C. <input type="checkbox"/> See patent family annex.		
* Special categories of cited documents: "A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance "E" earlier application or patent but published on or after the international filing date "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified) "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed "T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art "&" document member of the same patent family		
Date of the actual completion of the international search 02 April 2017		Date of mailing of the international search report <b>20 APR 2017</b>
Name and mailing address of the ISA/US Mail Stop PCT, Attn: ISA/US, Commissioner for Patents P.O. Box 1450, Alexandria, VA 22313-1450 Facsimile No. 571-273-8300		Authorized officer Blaine R. Copenheaver PCT Helpdesk: 571-272-4300 PCT OSP: 571-272-7774

## INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/US2016/067807

**Box No. II Observations where certain claims were found unsearchable (Continuation of item 2 of first sheet)**

This international search report has not been established in respect of certain claims under Article 17(2)(a) for the following reasons:

1.  Claims Nos.:  
because they relate to subject matter not required to be searched by this Authority, namely:
  
2.  Claims Nos.:  
because they relate to parts of the international application that do not comply with the prescribed requirements to such an extent that no meaningful international search can be carried out, specifically:
  
3.  Claims Nos.:  
because they are dependent claims and are not drafted in accordance with the second and third sentences of Rule 6.4(a).

**Box No. III Observations where unity of invention is lacking (Continuation of item 3 of first sheet)**

This International Searching Authority found multiple inventions in this international application, as follows:  
See Extra Sheet(s)

1.  As all required additional search fees were timely paid by the applicant, this international search report covers all searchable claims.
2.  As all searchable claims could be searched without effort justifying additional fees, this Authority did not invite payment of additional fees.
3.  As only some of the required additional search fees were timely paid by the applicant, this international search report covers only those claims for which fees were paid, specifically claims Nos.:  
•
4.  No required additional search fees were timely paid by the applicant. Consequently, this international search report is restricted to the invention first mentioned in the claims; it is covered by claims Nos.:  
1-20

**Remark on Protest**

The additional search fees were accompanied by the applicant's protest and, where applicable, the payment of a protest fee.

The additional search fees were accompanied by the applicant's protest but the applicable protest fee was not paid within the time limit specified in the invitation.

No protest accompanied the payment of additional search fees.

## INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/US2016/067807

Continued from Box No. III Observations where unity of invention is lacking

This application contains the following inventions or groups of inventions which are not so linked as to form a single general inventive concept under PCT Rule 13.1. In order for all inventions to be examined, the appropriate additional examination fees must be paid.

Group I, claims 1-20, drawn to performing an allocation operation.

Group II, claim 21, drawn to a computer-implemented method for communication in an instant messaging group having multiple members.

The inventions listed as Groups I-II do not relate to a single general inventive concept under PCT Rule 13.1 because, under PCT Rule 13.2, they lack the same or corresponding special technical features for the following reasons: the special technical feature of the Group I invention: notifying the notification targets of messages related to the allocation operation as claimed therein is not present in the invention of Group II. The special technical feature of the Group II invention: displaying, at a computing device of a user, a graphical user interface having at least a first lucky money mode option and a second lucky money mode option, wherein the first lucky money mode option is selectable by the user to send a first-type lucky money message to a group-chat window so that each member of the instant messaging group has an opportunity to obtain at least an object associated with the first-type lucky money message, wherein the second lucky money mode option is selectable by the user to send a second-type lucky money message to the group-chat window so that only those members predefined with the second-type lucky money message can obtain one or more objects associated with the second-type lucky money message; receiving user input to select the second lucky money mode option; receiving user selection of one or more members to each receive one or more objects associated with the second-type lucky money message as claimed therein is not present in the invention of Group I.

Groups I and II lack unity of invention because even though the inventions of these groups require the technical feature of extracting objects to be allocated; allocating the objects to be allocated to the allocation targets, this technical feature is not a special technical feature as it does not make a contribution over the prior art.

Specifically, US 2013/0080580 A1 (NAGAI et al) 28 March 2013 (28.03.2013) teaches extracting objects to be allocated (Paras. 16-17 and 84); allocating the objects to be allocated to the allocation targets (Paras. 16-17).

Since none of the special technical features of the Group I or II inventions are found in more than one of the inventions, unity of invention is lacking.

## フロントページの続き

(81) 指定国 AP(BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, ST, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), EA(AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), EP(AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OA(BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM, ML, MR, NE, SN, TD, TG), AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DJ, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IR, IS, JP, KE, KG, KH, KN, KP, KR, KW, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SA, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ

(72) 発明者 ユ, リーイン

中華人民共和国, ジャージャン 3 1 1 1 2 1, ハンチョウ, ユ ハン ディストリクト, ウェスト ウェン イ ロード ナンバー 9 6 9, ビルディング 3, 5 / エフ, アリババ グループ リーガル デパートメント

(72) 発明者 グオ, チェンルー

中華人民共和国, ジャージャン 3 1 1 1 2 1, ハンチョウ, ユ ハン ディストリクト, ウェスト ウェン イ ロード ナンバー 9 6 9, ビルディング 3, 5 / エフ, アリババ グループ リーガル デパートメント

(72) 発明者 ウー, ジェンハオ

中華人民共和国, ジャージャン 3 1 1 1 2 1, ハンチョウ, ユ ハン ディストリクト, ウェスト ウェン イ ロード ナンバー 9 6 9, ビルディング 3, 5 / エフ, アリババ グループ リーガル デパートメント

(72) 発明者 ルオ, フェン

中華人民共和国, ジャージャン 3 1 1 1 2 1, ハンチョウ, ユ ハン ディストリクト, ウェスト ウェン イ ロード ナンバー 9 6 9, ビルディング 3, 5 / エフ, アリババ グループ リーガル デパートメント

F ターム(参考) 5B084 AA01 AA02 AA16 AB11 BA07 BB15 CD24 CE04 CE12 DA05  
DB01 DC05 DC06 EA34 EA47  
5K127 BA03 CA08 CB22 FA05 GB72 GD13 KA02  
5K201 BB09 CA09 EC06 ED05 EF10